

川崎市外国人市民代表者会議



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

ニュースレター No. 84

編集・発行:市民文化局市民生活部多文化共生推進課 2026年2月28日発行

(日本語) <http://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/60-7-2-0-0-0-0-0-0-0.html>

(やさしいにほんご) <http://www.city.kawasaki.jp/250/page/0000042748.html>

〈2025インターナショナル・フェスティバルinカワサキ〉に参加しました

11月9日(日)に開催された 2025インターナショナル・フェスティバルinカワサキに、外国人市民代表者会議のメンバーが参加しました。

当日は、20以上の国・地域に関わる約80の団体がステージ・展示・交流体験・物産・相談コーナーなどの企画で盛り上げ、約4,000人の来場者で賑わいました。



代表者会議は活動展示のコーナーで代表者会議のPRをしたり、レセプションルームのステージでクイズ大会をしたりして参加者の方たちと交流をしました。

〈かわさき市民祭り〉に参加しました

11月1日(土)～3日(月・祝)に開催された第46回かわさき市民祭りの1日目に、外国人市民代表者会議のメンバーが参加しました。

代表者会議は、富士通スタジアム内のテントで、代表者出身の国々のクイズ、お菓子ルーレット、風船くぱりや国旗描きを参加者とやりながら交流を深めたほか、オープン会議のチラシを配り、代表者会議のPRをしました。



おーぶんかいぎ かいさい 〈オープン会議〉を開催しました

2025年度のオープン会議が、11月16日（日）に川崎市国際交流センターで開催されました。
今回は、全体で約30人の参加があり、14時から17時まで会議を行いました。

今回のオープン会議では、2つの分科会に分かれて、第15期の提言候補である「子育て・教育」「情報発信・周知」「防災・災害」の3つの提言（案）について説明し、参加者の方たちから意見をいただきました。

分科会のあとは、全体会で分科会の内容を共有し、最後にコメンテーターをお願いした立教大学特任准教授の門美由紀さんからコメントをもらいました。



アンケートや意見は、「色々な国から来られた方々が積極的に地域に参加されていることを知って嬉しく感じました。また参加したいと思います。ありがとうございます」「初めて参加させていただきました。いろんな有意義な意見が聞けて、ありがとうございます」「多文化共生に貢献するような、行政と地域コミュニティの交流や協力する機会がよりあるとよい」「資料も今日あまりなくて、話の内容も何を話せばいいかわからないような状況」「多数決で答えられる質問を提示すると参加者が議論に入りやすいと思う」などがありました。

また、会議のあとには短い時間でしたが交流会も開催しました。たくさんの方に参加していただき、とても楽しく、また有意義な時間を過ごすことができました。

今回いただいた貴重な意見やアドバイスを、ぜひ今後の審議に活かして、残りの会議でしっかりと提言をまとめていきたいと思います。ご参加いただいたみなさん、本当にありがとうございました。

第 15 期の調査審議の報告

たぶん かしゃかいぶかい 多文化社会部会

今回のオープン会議では、今後の施策検討に向けて、小学校以降の教育・生活支援に関するフローチャートの整備についての重要な提言が取りまとめられました。会議では、参加者の皆さまから多角的な視点で活発な議論が行われ、実際の現場で直面している課題や、より分かりやすく実用的な仕組みづくりに向けた具体的な提案が共有されました。特に、継続的な支援につながる導線設計について、多くの意見が寄せられました。

また、参加者からのフィードバックを通じて、当初の案に対する改善点や新たな視点も数多く示され、非常に有意義な意見交換の場となりました。今回いただいた貴重なご意見を参考に、より実効性の高い施策の実現につなげていく予定です

（オープン会議開催当時） 部長 アディダヤ ヨザ

多文化社会部会では、子育てフローチャートについて、オープン会議で得られた具体的な情報内容や共有方法に関する意見を基に、より実用的な提言の作成に参ります。

（オープン会議開催当時） 副部長 鄭 載勲

あんしんせいかつぶかい 安心生活部会

安心生活部会では、防災・災害において、市職員と避難所運営者向けと外国人市民向けを二つの軸とし、提言案をまとめております。既存の取組を統合させ、最大限に活用させていただきたいと考えております。

今回のオープン会議で代表者先輩と一般市民の方々から貴重なご意見とコメントをいただき、心から感謝を申し上げます。大切なインプットとして、確実に外国人市民の皆さんに役立つ提言案を仕上げさせていただきます。

ぶかいちょう しゃん ぼうじょ
部長 単 望舒

これまで会議では様々な話し合いを積み重ねてきましたが、オープン会議では一般参加者の方からまた今までにないご意見をいただき、新たな気づきを得ることができました。

任期も残り僅かですが、いただいた意見を踏まえ、具体的な提言を提出できるよう引き続き会議に向き合いたいと思います。

ふくぶかいちょう きむ すよん
副部長 金 寿瑛

第15期代表者の母国の文化ご紹介

親を子どもが世話するネパールの伝統

ネパールの家族制度は、深い情緒的なつながりに基づいた共同体です。子どもが親を世話することは単なる義務ではなく、宗教と文化の重要な一部となっています。この伝統によって家族の絆は強まり、年長者への尊敬の念が育まれ、世代を超えて愛情、思いやり、責任感の文化が受け継がれていきます。



多くの家庭では、特に一人っ子や長男がその役割を担うことが一般的です。両親が一生を通して示してきた愛情や犠牲、育ててくれた恩に感謝し、老後に寄り添って支えることが文化的に大切な価値とされています。

ポカレル ナラヤン

ブラジルの迷信：不思議な習慣

ブラジルには、今でも多くの人々が信じているユニークな迷信があります。例えば、掃除中に箒で足を掃くと結婚できなくなる、スリッパを逆さに置くと母親が亡くなるなどです。木を3回叩けば不運を避けられるというのも、よく信じられている習慣です。

また、訪問者を追い返したいときは、掃除用具のほうきをドアの後ろに置くと帰ってしまうとも言われています。バッグを床に置くとお金を失うとも信じられており、テーブルや椅子の上に置くことが推奨されています。

これらの迷信は、ブラジル文化の中で今なお大切にされており、日常生活に影響を与えています。興味深い文化の一面を知ること、ブラジルをもっと身近に感じるができるでしょう。

鎌田 ファチマ

中国の人気ラーメン：蘭州牛肉麺

蘭州牛肉麺は、中国甘粛省・蘭州発祥の伝統的なラーメンです。澄んだ牛骨スープはあっさりしながらも深い旨みがあり、香菜、葉ニンニク、大根、ラー油が絶妙なアクセントになります。街中には専門店が多く、ほとんどの店は朝5時から営業しています。

一日の最初に仕込まれるスープが最もおいしいと言われており、蘭州の人々にとって朝食の定番となっています。

職人の手延べ麺は太さや形を選び、もちもちとした食感がスープとよく絡みます。

早朝から行列ができるほど愛され、素朴ながら奥深い味わいが、幅広い世代に親しまれています。

張 遥

【お問合せ】

かわさきし市民文化局市民生活部多文化共生推進課

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1

Tel : 044-200-2846 Fax : 044-200-3707 E-mail : 25gaikok@city.kawasaki.jp

代表者会議やニューズレターへのご意見・ご感想をお待ちしています。

この紙は、古紙パルプ配合率70%の再生紙を使用

